



発行責任者 熊田順一郎
本号編集責任者 田中 朗裕

巻頭言

心の師・東井義雄の「培其根」

鏡石町教育委員会教育長 渡部修一

～年寄りの昔話です～

30歳目前の頃の事です。学級経営は思うようにいかず、体調不良での入院もあり、教員を続ける意味が見つけられず行き詰っていました。家族に相談したり、斎藤喜博や國分一太郎の本を必死に読んだりしましたが駄目で、いつ教員をやめようかと悩む日々でした。そんな私を救ってくれたのが東井義雄先生の著作でした。その当時でさえ、すでに過去の人というイメージだった彼の本を、それまで私は読んでいませんでした。それが、「村を育てる学力」にひどく共感してしまい、すぐに著作集を買って読んだのです。

何より心に残ったのが、別巻3巻にまとめられた「培其根」(ばいきこん)でした。「培其根」とは、「其の根を培(つちか)え」という意味で、彼の「根を養えば樹はおのずから育つ」という信念に基づく題名です。小学校の校長だった彼が、先生方の書いた週録(今という週案)に、その都度先生方にあてて助言や指導、共感や感想などの自分の想いを綴ったものを冊子にまとめたものです。いわば「校長の実践記録」です。東井校長が一人一人の先生方が提出した週録に心を込めて正対し、思うこと、考えたことを丹念に書き込み、提出する先生方も日々の実践を詳しく記録するようになって、徐々に学校全体で、子どもを中心にした教育実践が共有されていく様子が手に取るように読み取れました。

6月の広報で、大東小の齋藤校長先生が彼の詩に触れてくださっていますが、「培其根」にも印象的な短い表現がたくさん載っています。(卒業生一人一人に色紙に書いて贈った言葉が、美しい星のように並んでいるのです。)その言葉が、そうなんだ、これなんだと、弱い自分の心に染み込んでくるのでした。東井義雄は斎藤喜博のような強靱な神経の持ち主ではありません。いつも傷つき、こんな自分に生きる値打ちがあるとするなら、それは何だろうと自問自答する人でした。日本のペスタロッチと呼ばれ、哲学者の森信三師をして、「日本の教育界の国宝」と言わしめた人ですが、その人生は内省的なものでした。

私は彼の本を読むことで、「どうせ死ぬのに、人は何故学ばなければならないのか」という、祖父の死に感じた6歳時の自身の問いにも、改めて向き合うことができました。

『雨が降っても、天に向かってブツブツ言うな。雨の日には雨の日の生き方がある。』

これは、「培其根」のなかで当時一番気に入っていた言葉です。

我が心の師東井義雄は、明治45年、兵庫県豊岡市但東町の東光寺(奇しくも私の祖父の寺と同じ親鸞を開祖とする宗派)の長男として生まれました。79歳で没するまでの約60年を教育者として生き抜いた人です。

『岩瀬の校長先生方の 全身全霊を傾けた学校経営の成果に 期待しています。』

子どもたちがもつ不思議な力

須賀川市立第二小学校 野 原 光 弘

校長に赴任して早3ヵ月。どこに行っても「(前勤務地とは違って)満面の笑顔ですね。」とイジられ、食傷気味ではありますが、実際、学校現場では「うそみたいなおもしろいこと・笑えること・不思議なこと」が毎日起こります。

学校現場で勤めることができる当たり前に感謝をするとともに、5月の本校運動会にて「鳥肌」が立った「事件」が起きたので、この欄をお借りしてご報告いたします。

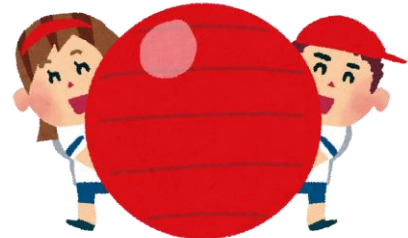
まず、前段階で、運動会本番の「前日」にそれは起きました。

今年の運動会では、コロナ禍での接触を減らすために実施を控えていた「大玉ころがしリレー」を復活させました。5年ぶりの「大玉ころがし」に、先生方の指導ノウハウもあいまいであり、前日の予行練習でも「あ～でもない。こ～でもない。」とさまざまな意見が錯綜していました。

そんな中、「ヨウイ… バーン」と大玉ころがし予行練習スタートのピストル音。

子どもたちは心配をよそに意外と上手。

大玉は滞ることなく、滑らかに地面を転がり、紅白それぞれ半周して、ほぼ同時にバックストレートからトラック中央へ。アンカーの6年生4人でトラック中央の輪っかにうまく乗せて、静止したらゴールです。



そしたら、なんと、まさかまさかの「同時ゴール」。本当に「練習したかのような見事な同時ゴール」に先生方も子どもたちも笑い転げて喜びました。

さあ次の日、晴天のなか、本番の運動会。プログラム2番が「大玉ころがし」。今日こそどちらが勝つのか。全児童が本気です。

「ヨウイ… バーン」とピストル音。…第2コーナーのあたりで昨日よりも差が開いている。今日は赤が勝ちかな…。

赤がリードしたままトラック中央へ。接戦だが2m差。勝負あったな。

次の瞬間。なぜか赤チームがゴール地点の輪っかに大玉をうまく乗せられない事態に。昨日はあんなに簡単だったのに。2m差を追いつく白チーム。

もたもたする赤玉とゴールに吸い込まれる白玉が、ピタッと静止したのは、これまただれがどう見ても本当に本当に「同時！」。

「キヤー！」子どもたちと保護者は大歓声 and 阿鼻叫喚。

先生方は、昨日を思い出して「絵に描いたような同時ゴール」に「鳥肌」。

職員室では、昨日の予行練習の後、今や運動会でも保護者撮影の動画でVAR判定を要求されるといううわさ話をしたばかりで、勝ったチームの旗を上げる審判の先生は「今の引き分けにしているのか？」と目線で訴えてきます。結果、VAR要求はなく、引き分け同点の大盛り上がりで開幕した運動会は、その後も逆転に次ぐ逆転劇の連続で幕を閉じました。

「こんな展開、練習したってできません。」…子どもたちの想定を超えるドラマティックな力の存在を実感した運動会でのお話でした。

出会いを大切に

須賀川市立阿武隈小学校長 笹島 明美

4月に阿武隈小学校に着任して3か月。何が何だか…あっという間に過ぎてしまい、まだまだ慣れていない自分がいます。こんな状況の中、6月に入り発見がありました。毎朝、子どもたちの登校指導する横断歩道に行く途中、ドクダミの花が咲いていました。「なんだ」と思うかもしれません。私もはじめは「違うのだろうか？」と思っていましたが、通勤途中のラジオでも話題に「花びらの枚数が違う花があるとか…」ということは、やっぱりドクダミの花だったとわかったのです。



もう一つの発見は、学校のプランターに黒い毛虫がいました。ビオラのプランターです。ビオラにつく毛虫なんて知らなかったのですが、ムシテックに引率で行ったら同じ虫がいるではありませんか。「ツマグロヒョウモン」というチョウの幼虫でした。知らないことがこんなに身近にたくさんある。私は何を見ていたのかな？と思う出来事でした。

そして出会いといえば、今回着任した阿武隈小でも。本校の齋藤教頭先生はムシテックで一緒でした。前任校の長瀬小の樽井教頭先生も根本屋小で同僚でした。教諭で一緒に働いたことのある方はいませんでしたが、2校とも知っている教頭先生だったので、異動はドキドキだったのですが、ちょっとほっとすることができました。

反対に、猪苗代町校長会、北会津地区校長会では、誰も知っている方もなく、顔も見たことがない方ばかり、とっても不安な出だしでした。どちらの会でも温かく迎えていただき、わからないことは、すぐ町内の校長先生方に電話をして教えていただきました。閉校に向けても、情報を共有していただき、何とか歩調を合わせながら無事に終えることができました。岩瀬に戻ってきて、もう会う機会もほとんどないだろうと思っていましたが、なんと県校長会の研究部長会で、猪苗代校長会で一緒だった北会津地区の高久校長先生、耶麻地区の武藤校長先生、女性管理職会で一緒した伊達校長先生と再会することができました。知っている方々がいると思うと、「研究部長会なんてどうしよう」と思っていたので、心強く感じました。

小教研算数の県大会についても、前任の岩井校長先生は、教頭のときから知っている方でしたし、県の算数部長中澤校長先生もサポートの坂牧校長先生も桑野小で一緒した方々で、何とかできそうと思える環境になっています。

今までのことを振り返ってみると、勤めてきた学校で出会った先生方に様々なことを教えていただいたり、助けていただいたりしてきました。そして、共に子どもたちのために頑張ってきた方々がたくさんいました。たくさんいる先生方の中で、再会する機会があることはすごいことだと思います。今の自分があるのは、今まで出会ってきた方々のおかげ、その時その時を一生懸命やってきたからこそであると。そしてこれからも、出会いを大切にし、少しでも先生方に、子どもたちに出会ってよかったと思っていただけるように頑張っていきたいと思います。

創立 150 周年を迎えて

須賀川市立大森小学校 佐藤 克浩



6月初旬、全校生で航空写真を撮影しました。航空写真とは言っても、もちろん今はドローンによる撮影です。子どもたちは、目の前でドローンが飛んでいるだけで大喜び。最初は低空を飛んでいたドローンが全景を撮影するために急上昇すると「おお！」と大歓声が上がります。いつも素直でありのままに感情を表現してくれる子どもたち。そのかわいらしさにいつも目を細めています。

す。余談ですが、本校は福島空港に隣接するため、ドローンを飛ばすためにいろいろと制約があるそうです。(80m以上の高度に上げてはいけないなど)

ところでご存知でしたか、福島空港は半分が本校の校区でもう半分が玉川村であることを。

(ちょっぴり自慢) 実は、本校の今の校舎があるのは、福島空港のおかげらしいのです。本校は須賀川市狸森区(むじなもりく)に位置しています。これは、狸森区のある会合に出席したときにうかがった話です。福島空港は狸森区と玉川村にまたがる観音山をスパッと水平に切り取ったところに作られました。空港建設予定地に住んでいた住人は余儀なく移転させられるわけですが、他にも山林伐採による土砂災害の恐れなど、地権者と建設側の県との交渉は大変だったようです。その交渉での要望の一つに「大森小学校新築」があったというのです。(つまり要望により今の校舎を勝ち取ったということ。真偽の程は不明) 校舎老朽化に伴い、新校舎建設の要求が始まったのが昭和54年ごろ。一方、県が空港建設を構想し始めたのが昭和52年、建設地が須賀川市に決まったのが昭和57年、県と狸森区の地権者との交渉が行われたのが昭和60～61年にかけてです。そして、本校の新築着工は昭和63年であり、確かに時期は重なっているのです。ただし、地権者と県の交渉の記録には、大森小新築に関わる記録は、無論残っていません。ただ、何か力が働いたのかもしれないという邪推はできます。そして、本校の新校舎は平成3年に落成、福島空港は平成5年に開港します。これは憶測でしかありませんが、本校の校舎と福島空港が運命的なつながりがあったと思うと、何だか誇らしく思えてきます。

さて、そんな大森小学校では、今年度150周年を迎えるにあたり、郷土芸能「自奉楽」を学校の教育活動の一貫として継承することとしました。「自奉楽」とは旧正月に奉納される、270年の伝統をもつ舞踊です。末永く継承していくことができるよう、今年度はしっかりとその基礎をつくっていきたいと考えています。10月12日に行われる150周年記念式典で披露する予定です。



電話連絡・電話対応を考える

須賀川市立白江小学校 中野 久美子

日曜日の朝8時に私の携帯に電話がかかってきました。「運動着を忘れてきてしまったので、学校に取りに行ってもいいですか。」

きっとこの保護者は、子どものために思い、学校が開いているなら取りに行きたいと考えたのでしょう。私は、この電話は学校に誰もおらず校長に転送されてきていることと、土日は学校を閉めていることをお伝えし、ご理解いただきました。

また、平日の夜遅くにこんな電話がかかってきたこともあります。「学校からの着信があったが仕事でできませんでした。子どもがまた何かしたのでしょうか。気になって……。本人に問い詰めても、『何もやってない』と言うし。」この保護者にも上記のように説明した上で、「〇〇さんに何かあったことは校長としては聞いておりません。学校からの再度のご連絡がないのであれば、大きな事案ではないのではないかと思います。明日の朝、すぐに担任より連絡させますので、理由が分からないまま〇〇さんを叱ったりしないであげてくださいね。」と伝えました。翌日担任に話を聞くと、提出書類に抜け落ちがあったので確認したかったが、電話がつながらなかったもので退勤したとのことでした。

これらの電話対応の件で、様々な課題が見えてきました。①学校の勤務時間について保護者の理解が不足していること②保護者への電話連絡内容によって電話か連絡帳か適切に選択する必要があることを教職員が十分に理解していないこと③保護者への電話連絡が子どものマイナス面に偏りがちであること④保護者に電話をする時刻と自身がそれに対応できる時間帯が考慮されていないこと 等です。大きく分けると、保護者側に理解を求める面と教職員が配慮しなければならない面がありました。

そこで、改めて学校・家庭間の電話連絡について整理してみました。まず、参考にしたのは、福島県教育委員会作成の「保護者及び地域のみなさまへ 教職員の働き方改革にご理解とご協力を！～みんなで変わろう！変えよう！子どもたちの未来のために～」にある電話対応です。そこには、「夜間や休日、学校閉庁日には電話がつながりません。その際には、翌日以降の勤務時間に連絡を」「勤務時間が以外の児童生徒の事件・事故等の緊急時は、警察・救急・消防等の関係機関へ」と明記されています。緊急性のないものについては互いに遅い時間や休日の連絡は避けるべきであることを共通理解する必要があると考え、以下のようにまとめて学校だよりで保護者に周知するとともに、教職員にも説明して新たな対応をお願いしました。

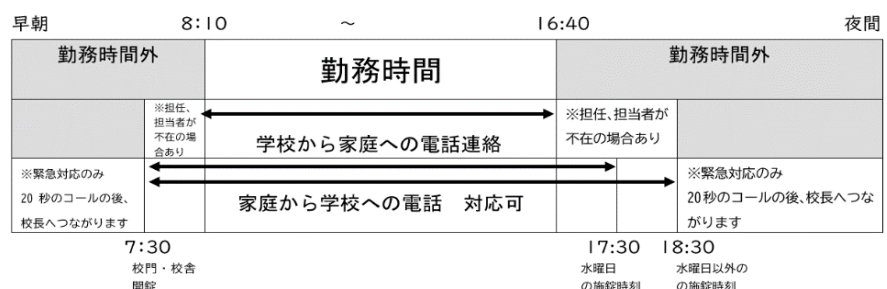
本校では、時間外の電話連絡対応を校長としました（教頭先生は休んでいただきたい）。生徒指導案件や保護者の不安・心配の初期対応が遅れると、結局はその解決に多くの時間を費やすことになるからです。

また、私個人としては、校長として子どもや教職員の事件・事故はいち早く知りたいと思っています。

子ども第一優先とした真の働き方改革を目指し、これからもよりよい電話対応のあり方を模索していきます。

電話連絡について

- 本校の勤務時間は8：10～16：40です。原則としてご家庭への連絡はこの時間に行わせていただきます。
- 朝は7：30に校門を開けています。朝のお電話は7：30から受け付けます。
- 本校の施錠時刻は原則として月・火・木・金は18：30、水は17：30です。学校へのご連絡はこの間はつながりますが、担任はいない場合があります。
- 学校施錠時刻後のご連絡は、翌日以降の勤務時間をお願いします。
- 時間外の緊急対応のお電話は、20秒後に管理職につながるようになっています。



私は車が大好きである。もし教師になっていなければ、自動車のセールスマンか整備士を目指していたであろうほど、車が大好きである。そんな私の愛車のナンバーは「50-50」。同僚からナンバーの意味を尋ねられ、「行け行け、ゴーゴーですか?」「もしかして、郷ひろみのファンですか?」などと聞かれたことがあるが、そんな軽い意味ではない。(べつに郷ひろみが嫌いなわけではない。)

私がナンバープレートに込めた思いは「人生、よいことも悪いことも半分半分」という意味のフィフティ・フィフティである。「人間万事塞翁が馬」という言葉があるが、その意味にも似ている。私が33歳の時の人事異動で、希望してもいない田村郡都路村へ転出することになった。その時、息子は小2、娘は3歳、妻は育児に専念するため教員退職を決めたタイミングだった。家を新しく購入しており単身赴任を覚悟していたのだが、家族会議の結果、家族全員で都路村に転居することになった。家族4人が一緒に暮らすことを最優先したのであるが、これが人生の大きな転機となる。岩井沢小学校から100mの所に教員住宅があったのは幸いだったが、一番近いコンビニまで車で30分という山奥の不便な生活が始まった。学校やPTAの飲み会は、学校隣にある校長住宅である。吉幾三のヒット曲でも歌いたくなる気分になる。

ところが、この不便なはずの山奥生活がとても心地よいのである。子ども達は大自然の中の生活を満喫し学校で楽しく過ごし、妻は子育てに専念し心にゆとりのある生活を送れた。地元の皆さんにも優しく接していただいた。学校では教務として息子の教科指導をして通知票も書いた。娘は小学校に併設された幼稚園で過ごし、休み時間に校庭で遊ぶ私を見つけては「何してんの?」と毎日のように声をかけてくる。その後、娘の入学式も息子の卒業式も私が司会で実施した。平和なキャンプ生活のような日々が4年間続いたが、最後の2月に私が小脳梗塞で倒れてしまった。小脳の細い血管が切れてしまい、無理をするとめまいを起こす体になってしまった。後遺症で得意だったマット運動も鉄棒運動もできなくなってしまった。教員を辞めることも考えたが、働かずに主夫ができるほど私は器用ではない。めまいと闘いながら教員を続け、体調に自信が待てるようになるまで10年を費やしてしまった。(この闘病生活が、息子が医者を目指すきっかけになったのだから、私の小脳梗塞も無駄ではなかったが。)

48歳の頃、今さら管理職を目指すなんて…とも思ったが「自分の人生修行」と考えた。あの頃、学級担任や教務主任の仕事に誇りを持って取り組み、成果にも満足していた。中堅教師として充実した毎日を過ごしていた。ただ、このまま教諭で60歳定年を迎えたときに「これで本当に満足できたのか?完全燃焼できたのか?」という疑念が湧いてくると考えた。これまでの人生でも中途半端な満足で終わってしまったことが多かったからだ。人生最後であろうチャレンジは、納得いくまで精いっぱい努力してみようと決心した。

実際に教頭になってみると、想像どおり簡単な仕事ではなかった。7年間で4人の校長先生方にお仕えし、いろいろと勉強させていただいた。今まで自分勝手に生きてきた人間が、校長先生や教職員のことを優先して考え、何よりも子ども達のための学校づくりを真剣に考えてきたのは貴重な経験だった。仕事で苦しいときには「悪いことばかり、ずっとは続かない。」と自分で自分を励まし、楽しい幸せなときには「油断するなよ。調子に乗っていると足元をすくわれるぞ。」と自分を戒めてきた。「人生、よいことも悪いことも半分半分」である。

そしてこの春、ようやく目標とした「校長」に昇任することができた。60歳まで残り2年、「ギリギリの滑り込みセーフ」である。「喜び爆発」というよりは、校長の責任の重さを改めて噛みしめているところである。

これまでの「人の縁」に感謝しながら、残り2年間で大里小学校のため、天栄村のため、そして岩瀬地区のために、粉骨砕身で学校経営に取り組んでいく覚悟である。



『 母校に赴任して想うこと 』

須賀川市立第二中学校 酒井 宏尚

本校は創立76周年を迎える歴史と伝統のある学校です。須賀川市の中心部に位置し、主に第二小学校・阿武隈小学校・柏城小学校の3つの小学校区から市内の3割以上の中学生が通う県内で6番目に大きい中学校です。少子化により学校の統廃合のニュースは近年珍しいものではなくなりました。そのような時代にあっても全校生徒数が600名、教職員数も50名を超える本校は私の母校であり、かつて私の子ども達も通った思い入れの深い、この第二中学校の学校経営に携われることはたいへん幸せなことだと日々感じています。

大規模校のメリットの一つは生徒数が多いため、多種多様な個々の考え方に触れる機会を多く持つことができることです。普段の学校生活の中で互いの意見を聞き、認め合ったり、また自分の意見を出し合ったりして、刺激し合うことは自分の考え方が広がるきっかけになります。特にグループワークなどでは、ダイナミックな活動ができます。他人の意見を聞き、同じ意見もあれば、違う意見もあるということを知ることができます。どうしても意見がまとまらない場合は、どうにかお互いが納得できるポイント（落としどころ）を探すなど解決できる糸口を見つける力が身に付きます。これは将来社会に出たときに役に立つたいへん重要なスキルとなります。自分以外のものの考えや個性を受け入れる経験を多く持つことができることは多感な中学生にとってとても大切なことです。

また、生徒の人数が多いと教職員数の配置も多くなるため、多くの先生方や職員の方々と関わりを持つことができ、多くのことを学ぶことができます。家族以外の大人の方との関わる機会が非常に少ない昨今ではこれまたたいへん有意義なことです。

体育祭や文化祭なども大人数だと活気づくため、生徒側や、見学に来ている保護者側も大いに盛り上がります。5月に行われた体育祭の盛り上がりは記憶に新しいところです。

その他にも大規模校ではクラス替えも可能で、生徒間での交流もさかんになります。今までクラスが違ったために会話したことがなかった人とも交流ができ、互いに切磋琢磨する仲になることもあるのではないのでしょうか。仲が良い友だちと離れてしまうことは一番心配なことだと思いますが、新たな出会いがあることが期待でき交友関係も広がります。

また、多様な部活動があることも大規模校ならではの、生徒も選択の幅が広がり、より自分が好きなこと、得意なことを伸ばすことができます。

現在の学校の雰囲気は明るくとても活気があります。長年継承されている「あいさつの二中、歌声の二中、We love 二中」のスローガンをまさに日々体現しています。4月に母校に何十年かぶりに足を踏み入れた時に聞いた、全校生徒が歌った二中の校歌は懐かしさを越えて感動すら覚えるものでした。生きていれば何かしらはあります。それでも明るく前向きな気持ちで一步でも前に進めるように全校生徒一人ひとりを支援していきます。

頑張れ!! 二中の後輩達よ!!

「共助のコミュニティ」としての学校

須賀川市立仁井田中学校長 中瀬 宏昭

学校内をぶらぶらと歩く。3年生の数学の授業。4人グループでひそひそと資料の一部分を指さしながら相談？している。ドアをそっと開けて教室に入る。班の様子を見ながらそっと歩く。できる限り音を出さないように注意しながら…

それは、授業に集中している教員や、何よりも生徒の学習の邪魔にならないようにしたいと考えるからである。

現在、学校は新型コロナウイルス感染症の脅威からも解放され、以前のように笑顔や笑い声が絶えない毎日である。教育活動に制限がかけられることもなく、やりたいことややらせたいことが思いっきりできる環境を取り戻していると感じる。これまで長い期間、東日本大震災時と同様、正しい答えというものが全くない中で、いかに最適解を生み出していくのか、「Error & Learn」の繰り返しであった。

長い伝統や歴史を積み重ねた学校であっても、前例踏襲は叶わず、その都度、何をを目指すのか、何ができて何ができないのか、様々な状況を的確に判断し、教職員や地域の方々が持つ知識を知恵に変え、新しい発想で取り組むことが求められた。

しかし、そのような厳しい環境だからこそ、改めて、学校が「共助のコミュニティ」であることを再確認できた。

画一的なあたりまえの発想から脱却し、達成すべき上位目標に向かって、多種多様な意見を持ち寄り、最適解を探し、行動する。たとえ失敗してもそこから学び直しがはじまり、

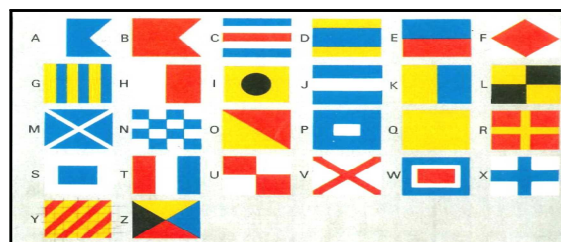
さらにより良い解を求めて行動する中で、お互いを尊重し、認め合い、助け合うことの大切さを学び直すこともできた。

また、客体を意識しながら自らが行うべきことはなにか、何ができるのか考え、他と対話し、選択し、実行していこうとする主体性を育て、挑戦することの大切さを学ぶこともできた。

学校が迷いなく「共助のコミュニティ」として突き進むためには、様々な支援と協力が不可欠である。これまでも地域や保護者の皆様のご理解とご協力が、学校が直面する様々な困難を乗り越える力となった。この仁井田中学校という場がこれからも地域とつながり、あたたかさやぬくもりを肌で感じる場所になってほしいと心から願っている。



【校舎壁面の旗旒信号】



令和6年度中体連岩瀬支部総合体育大会

団 体 種 目 結 果 一 覧

【 ー 出場なし / 3位は1団体のみ 】

種 目		第 1 位	第 2 位	第 3 位	
軟 式 野 球		須賀川二中	西 袋 中 稲 田 学 園 連 合	長 沼 中	須賀川一中
ソフトボール	女子				
バスケットボール	男子	鏡 石 中	須賀川一中	西 袋 中	/
	女子	須賀川三中	大 東 中	須賀川二中	/
バレーボール	女子	須賀川二中	須賀川三中	鏡 石 中	仁 井 田 中
サ ッ カ ー		須賀川二中	天 栄 中	仁 井 田 中	西 袋 中
ソフトテニス	男子	大 東 中	岩 瀬 中	須賀川三中	仁 井 田 中
	女子	西 袋 中	仁 井 田 中	須賀川二中	岩 瀬 中
バドミントン	男子	鏡 石 中	須賀川三中	須賀川二中	/
	女子	須賀川二中	稲 田 学 園	岩 瀬 中	鏡 石 中
卓 球	男子	須賀川三中	大 東 中	稲 田 学 園	鏡 石 中
	女子	岩 瀬 中	須賀川二中	鏡 石 中	須賀川三中
柔 道	男子				
	女子				
剣 道	男子				
	女子				
体 操	男子				

令和6年度中体連岩瀬支部総合体育大会 個人種目結果一覧

【 - 出場なし / 同順位の3位なし 】

種 目			第1位		第2位		第3位			
			氏名	学校	氏名	学校	氏名	学校	氏名	学校
ソフトテニス	個人	男子	安田 煌 柳沼 柘嵩	大東	関根 栄太 関根 凜空	大東	村越 瑛太 安藤 紘人	大東	岡部 奏汰 安藤 拓史	仁井田
		女子	大武 姫菜 大武 夢菜	西袋	高橋 ことね 近内 汐里	西袋	松本 亜里紗 鈴木 愛理	西袋	関根 文薫 横田 莉胡	西袋
バドミントン	個人単	男子	村上 将梧	鏡石	円谷 陸斗	須三	熊田 光佑	須二	熊田 洸星	須二
		女子	渡邊 莉來	須二	岩井 悠花	稲田	村澤 優奈	天栄	藤島 陽莉	鏡石
	個人複	男子	立石 光希 今野 惇己	須三	面川 聖翔 立石 海斗	鏡石	仲沼 春翔 有賀 和夢	鏡石	高野 優翔 石森 星太	鏡石
		女子	阿部 愛莉夏 稲田 さら	須二	伊藤 らん 星 芙羽華	稲田	渡部 慧 圓谷 瑠花	天栄	石井 凜 渡邊 南	須二
卓 球	個人単	男子	深澤 楓	西袋	岩崎 成吾	稲田	遠藤 駆琉	須三	中村 健琉	須三
		女子	芳賀 優那	須二	大河原 桃	鏡石	添田 姫愛	西袋	小川 杏凜	西袋
	個人複	男子	角田 賢祐 鈴木 宥雅	須三	松谷 奏星 渡邊 恭平	須三	岩井 悠翔 井戸沼 翔哉	稲田	溝井 孝悠 郡司 琉雅	大東
		女子	木船 紗希 有賀 咲穂	岩瀬	森合 絆 井跡 由理	須三	安藤 心緒 畑 美月	須三	黒津 愛菜 佐藤 妃織	須三
柔 道	男子個人	50kg級								
		55kg級								
		60kg級								
		66kg級								
		73kg級								
		81kg級								
		90kg級								
		90kg超級								
	女子個人	44kg級								
		48kg級								
		52kg級								
		57kg級								
		63kg級								
		70kg級								
		70kg超級								
剣 道	個人	男子								
		女子								
体 操	男子個人	ゆ か								
		鞍 馬								
		跳 馬								
		鉄 棒								
		総 合								
テニス	個人単	男子								
		女子								
	個人複	男子								
		女子								

トラック・フィールド種目・決勝・記録表(8位まで)

陸協 福島		コード 07		競技会名 第2回県中地区中学校陸上競技大会		記録主任 佐藤 太		審判長 安藤昭人(トラック)、斎藤一朗(フィールド)					
主催団体 県中地区中学校体育連盟		コード		競技会場 田村市陸上競技場		コード		記録主任 佐藤 太					
日付	種目	レー ス区	組	風速	順位	競技者名	所属	記録	順位	競技者名	所属	記録	順位
05/15	男子共通 走高跳	決勝			1	添田 楓	3 富 田	1m65 大会新	3	藤田 幸久	2 仁井田	1m65 大会新	4
					5	佐藤 沙樹	3 緑ヶ丘	1m62 大会タイ	7	楠枝 大佳	2 天 栄	1m53	7
05/15	女子共通 走幅跳	決勝			1	赤津 友優	3 郡山ザベリオ	4m81(+1.5) 大会新	3	新田 優陽	2 郡山第一	4m45 -2.1	4
					5	葉谷 汐里	3 須賀川第二	4m33 大会新	7	國分 紀香	2 郡山第三	4m14 +1.5	8
05/15	男子四種 砲丸投[4.000kg]				1	瀬野倫太郎	3 仁井田	10m33 505	3	青柳 怜央	3 守 山	9m23 440	4
					5	小林 典生	3 船 引	9m12 433	7	岩佐 陽	2 郡山第一	8m66 406	8
05/16	男子共通 砲丸投[5.000kg]	決勝			1	村上賢太郎	3 西田学園	13m20 大会新	3	鈴木 悠悟	3 安積第二	11m30	4
					5	大橋 史苑	2 富 田	9m62	7	小口 聖那	3 稲田学園	9m58	8
05/15	女子四種 走高跳				1	樽川 実冬	2 郡山第一	1m40 512	3	菅原 悠月	2 宮 城	1m25 359	4
					5	中根 千那	3 須賀川第二	1m25 359	7	矢部 ホシ	3 守 山	1m15 266	8
05/16	女子四種 砲丸投[2.721kg]				1	樽川 実冬	2 郡山第一	9m09 405	3	渡邊 日向	3 船 引	7m55 370	4
					5	志賀 帆花	3 岩 江	7m41 361	7	若狭 佑衣	2 須賀川第一	6m26 288	8
05/15	女子共通 砲丸投[2.721kg]	決勝			1	添田 姫愛	3 西 袋	11m27 大会新	3	佐藤 詩	3 大 槻	9m63	4
					5	青木 優依	3 船 引	8m71	7	小林 桃佳	3 須賀川第二	8m04	8
05/16	男子四種 走高跳				1	松崎 嘉允	3 富 田	1m65 504	2	岩佐 陽	2 郡山第一	1m52 404	4
					5	菊地 玄武	3 須賀川第二	1m49 381	7	青柳 怜央	3 守 山	1m40 317	8
05/16	男子共通 走幅跳	決勝			1	龍山 匠	3 郡山第五	5m93(+2.8) 公5m94(+1.1)	2	大石 夏輝	3 緑ヶ丘	5m36 +0.1	4
					5	遠藤 旭	3 安 積	5m18 +1.8	7	田中 颯	3 郡山第二	5m00 +1.5	8
05/16	女子共通 走高跳	決勝			1	中村 寧桜	2 大 槻	1m62	3	加藤 優莉	3 郡山第六	1m35	4
					5	斎藤 優七	1 小 野	1m30	6	阿保 美鈴	2 鏡 石	1m25 県大会出場	8
05/15	男子四種 110mH[0.914m/9.14m]	決勝			1	松崎 嘉允	3 富 田	15.30(-0.8) 814	2	瀬野倫太郎	3 仁井田	17.88(-0.8) 536	4
					5	依田 明也	3 郡山第五	19.14(-0.8) 420	6	橋本 立基	3 須賀川第二	19.27(-0.8) 409	7
05/15	女子四種 100mH[0.762m/8.00m]	決勝			1	樽川 実冬	2 郡山第一	16.95(-0.1) 602	3	吉田 心瑩	3 仁井田	19.01(-0.1) 389	4
					5	志賀 帆花	3 岩 江	19.99(-0.1) 303	7	中根 千那	3 須賀川第二	24.43(-1.8) 41	8

トラック・フィールド種目・決勝・記録表(8位まで)

陸協 福島		コード 07		県中地区中学校体育連盟										競技会名		第2回県中地区中学校陸上競技大会		コード		24074004		審判長 安藤昭人(トラック)、斎藤一朗(フィールド)	
主催団体		県中地区中学校体育連盟										競技会場		田村市陸上競技場		コード		073110		記録主任		佐藤 太	
日付	種目	レース区	組	風速	順位	競技者名	所属	記録	順位	競技者名	所属	記録	順位	競技者名	所属	記録	順位	競技者名	所属	記録	順位		
05/16	女子 1年 100m	決勝		+0.6	1	吉成 心葵	1 明 健	13.96	2	松本 桜月	1 行 健	14.29	3	七海 菜心	1 岩 江	14.34	4	浜尾 柚奈	1 郡山第五	14.43			
					5	長谷川美優	1 鏡 石	14.48	6	宮田 愛菜	1 郡山第三	14.52	7	安部 未桜	1 富 田	14.63 14.6211	8	根本 藍	1 小 野	14.63			
05/16	男子 1年 100m	決勝		+1.3	1	深町 海斗	1 郡山第七	12.95	2	玉根 彪希	1 行 健	12.95	3	渡部 莉空	1 富 田	13.10	4	小針 歩人	1 鏡 石	13.12			
					5	石井 魁人	1 郡山第一	13.22	6	秋元 翔汰	1 須賀川第一	13.38	7	鳴原 聖虎	1 郡山第五	13.39	8	寺山恵太郎	1 郡山第二	13.46			
05/16	女子 2年 100m	決勝		-0.1	1	溝口 桜花	2 郡山第三	13.01 大会新	2	郡 沙希	2 富 田	13.23 大会新	3	佐々木杏菜	2 行 健	13.94	4	稲川 香乃	2 長 沼	14.13			
					5	関口 綾	2 郡山第二	14.15	6	井上マイレ	2 小原田	14.24	7	佐藤 渚咲	2 明 健	14.24	8	今野 凌香	2 緑ヶ丘	14.51			
05/16	男子 2年 100m	決勝		+0.9	1	中島 虹音	2 郡山第三	11.81 大会新	2	菅野倫太郎	2 郡山第六	12.05	3	橋本 結翔	2 小 野	12.34	4	山口 隼乎	2 安積第二	12.37			
					5	栗城 禅	2 守 山	12.40	6	渡部 煌貴	2 富 田	12.40	7	佐久間悠人	2 郡山第七	12.53	8	小附煌太郎	2 郡山第一	12.59			
05/16	女子 3年 100m	決勝		-0.3	1	門馬 青花	3 三 春	13.21	2	鈴木 結衣	3 岩 瀬	13.75	3	吉田 寧来	3 安積第二	14.00	4	横田 莉胡	3 西 袋	14.07			
					5	太田璃莉花	3 大 東	14.37	6	我満 美咲	3 郡山第二	14.41 14.4029	7	本田 結愛	3 大 槻	14.41 14.4044	8	岩井 悠花	3 稲田学園	14.69			
05/16	男子 3年 100m	決勝		-1.0	1	大内 裕翔	3 船 引	11.34	2	熊田 敬介	3 郡山第一	11.44	3	清野 陽生	3 須賀川第二	11.72	4	押山 暖祈	3 富 田	12.10			
					5	鈴木 季空	3 小原田	12.22	6	山本 蒼大	3 守 山	12.48	7	小林 颯	3 鏡 石	12.53		八代 拓音	3 西田学園	失格フライング			
05/16	女子 共通 200m	決勝		+1.4	1	藤井 史織	3 鏡 石	26.81 大会新	2	伊藤 百花	2 三 春	27.45 大会新	3	吉田 菜央	3 Do-Well	27.58 大会新	4	橋本 瑠子	2 郡山第七	28.22			
					5	遊佐莉未奈	3 小原田	28.33	6	佐々木清空	1 明 健	28.60	7	今泉 里彩	2 富 田	28.97	8	酒井 理愛	3 緑ヶ丘	29.16			
05/16	男子 共通 200m	決勝		0.0	1	綱島 伊吹	3 郡山第五	23.31 大会新	2	橋本 凜	3 郡山第四	23.53 大会新	3	齋藤 唯人	3 郡山第七	24.25 大会新	4	高松 和馬	3 安積第二	24.39 大会新			
					5	金澤 優武	3 長 沼	24.39 大会新	6	古館 遼人	3 小原田	24.60 大会新	7	影山 洸明	3 仁井田	25.13	8	見矢木汰徠	3 大 槻	25.15			
05/16	男子 共通 400m	決勝			1	加藤 幹太	3 富 田	52.62 大会新	2	鈴木 琉清	3 郡山第一	55.11	3	勝沼 隼史	3 滝 根	56.31	4	円谷 春陽	2 須賀川第一	56.50			
					5	長塚 祐樹	3 郡山第五	57.17	6	坂田 泰一	3 郡山第七	57.20	7	齋藤 大耀	3 須賀川第二	57.79	8	堀越 悠吾	3 船引南	58.96			
05/16	女子 共通 800m	決勝			1	齋藤 茜里	2 郡山第七	2:23.91 大会新	2	丸野 七瀬	3 富 田	2:24.10 大会新	3	鈴木 珠璃	2 須賀川第二	2:27.51	4	古川 由芽	3 三 春	2:29.64			
					5	吉田 はな	3 船 引	2:31.14	6	遠藤 莉菜	3 郡山第二	2:31.84	7	佐藤 希	2 須賀川第三	2:41.10	8	松井 蘭	3 須賀川第一	2:42.46			
05/16	男子 共通 800m	決勝			1	柳田 悠吾	3 富 田	2:00.91 大会新	2	正木 勇斗	3 須賀川第一	2:05.59	3	阿部 拓実	3 郡山第三	2:07.02	4	五十崎瓜斗	3 大 槻	2:09.02			
					5	水野 雄登	3 須賀川第三	2:09.96	6	佐藤 隼	3 行 健	2:10.88	7	移川 樹	3 明 健	2:14.83	8	志田 知樹	2 船 引	2:15.66			

トラック・フィールド種目・決勝・記録表(8位まで)

陸協 福島			県中地区中学校体育連盟			競技会名			コード			審判長		
主催団体			田村市陸上競技場			第2回県中地区中学校陸上競技大会			24074004			安藤昭人(トラック)、斎藤一朗(フィールド)		
日付			07			073110			記録主任			佐藤 太		
日付	種目	レース区	組	風速	順位	競技者名	所属	記録	順位	競技者名	所属	記録	順位	記録
05/16	女子 共通 4×100mR	決勝			1	小山 結花	2 三春	52.41	2	村上心桜里	2 郡山第三	53.66	1	長谷川美優
					2	伊藤 百花	3 富田	大会新	3	溝口 桜花	2 郡山第三		2	込山 怜奈
					3	古川 田芽	3 丸野		4	芳賀 美咲	2 郡山第三		3	柳沼 凛音
					4	門馬 曹花	3 郡		5	佐久間南緒	3 郡山第七		4	藤井 史織
					5	茂木明日香	2 三浦	54.82	6	加藤 虹七	2 郡山第七	54.95	8	中村 寧桜
05/16	男子 共通 4×100mR	決勝			1	矢吹 彩加	2 石井		7	橋本 璃子	3 小原田		3	坂田 泰一
					2	佐久間 遼	3 龍崎 心海		8	齋藤 果歩	3 小原田		4	鈴木 真輝
					3	押山 暖祈	3 鈴木 悠斗		9	齋藤 龍里	2 行 健	4:52.34	5	草野 唯人
					4	山 楓	3 大内 裕翔	45.08	10	佐藤 青洗	3 郡山第一	46.46	6	細島 伊吹
					5	古川 幹太	3 郡司 隆聖	大会新	11	鈴木 琉清	3 郡山第一		7	大河原 祐
05/16	男子 1年 1500m	決勝			1	齋藤 大禮	2 須賀川第二	47.43	12	佐々木 司	3 小原田	48.25	8	齋藤 泰一
					2	柳沼 絆	3 須賀川第二		13	霞斗 遼人	3 小原田		9	坂田 泰一
					3	伊藤 豪	3 中島 虹音		14	古館 遼人	3 小原田		10	鈴木 真輝
					4	清野 陽生	3 佐藤隆ノ介		15	鈴木 李空	3 行 健		11	張住 真輝
					5	八幡 海吏	2 佐久間瑞月	4:45.44	16	深瀬 蒼介	1 行 健	4:52.34	12	藤田 海斗
05/16	男子 2・3年 1500m	決勝			1	小針 越	1 天 栄	4:52.95	17	渡邊 佑	1 須賀川第二	5:00.71	8	鈴木 風雅
					2	三橋 泰規	2 船 引	4:18.87	18	鈴木 真	3 郡山第七	4:27.51	9	溝井 端介
					3	白岩 大知	2 西田学園	4:30.07	19	影山 虹太	3 富 田	4:33.01	10	石川 創史
					4	古川 稜	3 富 田	14.47	20	根本 健吾	3 稲田学園	17.58	11	伏島 蒼
					5	田母神 蓮	3 安積第二	18.55	21	大河原昇吾	3 長 沼	19.06	12	野田 大凱
05/16	女子 共通 110mH[0.914m/9.14m]	決勝		+1.2	1	佐久間 凜	3 郡山第五	14.79	22	込山 怜奈	2 鏡 石	16.82	13	齋藤 果歩
					2	近藤由莉奈	2 仁井田	18.99	23	関根 葉月	2 須賀川第一	19.04	14	石原 理子
					3	渡邊 日向	3 船 引	27.48(+1.1)	24	菅原 悠月	2 宮 城	30.07(+0.8)	15	志賀 帆花
					4	吉田 心瑩	3 仁井田	31.15(+1.1)	25	若狭 佑衣	2 須賀川第一	32.92(+1.1)	16	中根 千那
					5	松崎 嘉允	3 富 田	55.93	26	伊藤 大心	3 三穂田	1:00.30	17	岩佐 陽
05/16	男子 四種 200m	決勝			1	小林 典生	3 船 引	1:00.96	27	青柳 裕央	3 守 山	1:01.49	18	今泉 翔
					2	新海 夏音	1 郡山第四	5:16.56	28	三浦 結愛	1 船 引	5:17.17	19	森 咲夏
					3	藤田 羽奏	1 西 袋	5:24.23	29	下重 心花	1 小原田	5:32.29	20	白石 琴音
					4	三浦 香愛	2 須賀川第一	5:06.28	30	松山 愛琉	3 郡山第七	5:13.32	21	森 結愛
					5	田部 美広	3 郡山第三	5:14.23	31	下重 璃乃	2 船 引	5:15.42	22	志賀 羽衣

トラック・フィールド種目・決勝・記録表(8位まで)

陸協 福島		コード 07		競技会名 第2回県中地区中学校陸上競技大会		コード		24074004		審判長 安藤昭人(トラック)、斎藤一朗(フィールド)										
主催団体		県中地区中学校体育連盟		競技場名 田村市陸上競技場		コード		073110		記録主任 佐藤 太										
日付	種目	レー ス区	組	風速	順位	競技者名	所属	記録	順位	競技者名	所属	記録	順位	競技者名	所属	記録				
05/16	男子 共通 3000m	決勝			1	伊藤 顕太	3 三 春	8:59.64 大会新	2	大和田剛基	3 郡山第五	9:06.70 大会新	3	宗像 大晴	3 大 槻	9:18.88 大会新	4	山本 航己	3 郡山第一	9:20.64 大会新
					5	赤塚 祐星	3 仁井田	9:25.71 大会新	6	遠藤 風翔	3 西 袋	9:34.58	7	小林 篤仁	3 郡山第三	9:41.99	8	小石澤頼人	3 船 引	9:42.78
					1	佐々木清空	1 明健	54.29	2	佐々木香葉	2 行健	55.77	3	本田 華葉	1 小原田	56.45	4	上妻 心愛	1 大槻	56.60
					1	吉成 心奏	2 2	2	二瓶 夏希	2 1	2	井堀 陽菜	2 2	2	寺井 夕夏	2 大槻	56.60			
					1	壁谷 二まほ	2 2	2	古川 桜月	1 1	2	菊地陽菜乃	2 2	2	伊藤 夢望	2 大槻	56.60			
05/16	女子 低学年 4×100mR	決勝			1	佐藤 花音	2 須賀川第三	57.15	6	洪谷 煌来	2 鏡石	57.31	7	宇佐美夢音	2 小野	57.79	8	武田奈々佳	2 郡山第一	58.54
					5	三本松采花	1 1	2	大河原琉依	2 2	2	郡司 柁奈	1 1	2	村松 優衣	2 2	2	奥山 優海	1 1	58.54
					1	面川 依舞	2 2	2	志賀 瑠璃	2 2	2	根本 瑠璃	2 2	2	渡邊 灯真	2 2	2	飯村 泰心	2 2	50.67
					1	柳沼ありす	2 2	2	嶋野 蒼空	2 2	2	薄井 翔吾	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.94
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3	草野 藍	2 須賀川第二	50.37	4	飯村 泰心	2 郡山第一	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	今泉 翔太	2 2	2	安藤 颯斗	2 2	2	小附煌太郎	2 2	2	石井 魁人	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
					1	安西 龍聖	2 2	2	嶋重 空人	2 2	2	葛野 颯斗	2 2	2	秋元 翔汰	2 2	2	渡辺 健碩	1 1	50.67
05/16	男子 低学年 4×100mR	決勝			1	安西 龍聖	2 富田	48.27 大会新	2	嶋重 空人	2 鏡石	50.17	3							